

## 第3編 男女共同参画に関する高校生意識調査

### I. 調査方法

調査対象：市内の高等学校の2年生

有効回収数：423人（女性200人 男性203人 無回答20人）

実施期間：平成29年10月24日～平成29年11月14日

### II. 調査結果のまとめ（集計・分析）

#### 1. あなた自身について

- ・男女の割合はほぼ同じである。

#### 2. 男女平等と性別役割分担意識について

##### （男女平等の意識）

- ・男女とも5割以上が平等としている項目は「学校・教育の場」のみである。
- ・男性が5割以上で女性が5割未満の項目は、「家庭生活の場」、「自治会等の地域活動」、「法律や制度」、「社会通念・慣習やしきたり」であり、男女で差がみられる。
- ・男女とも平等が5割未満の項目は、「雇用の機会や働く分野」、「職場」、「政治・経済活動への参画」、「社会全体」であり、女性の方が各項目で男性よりも不平等と感じている。

##### （家庭での男女の役割分担）

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方については、男女とも否定が肯定よりも高く、否定する割合は女性の方が高い。

##### （女性と職業）

- ・女性が職業を持つことに対して、「女性の思うとおりにするのがよい」は、女性が4割で、男性は6割である。また、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」と「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」を合わせた割合では、女性が4割、男性は2割で女性の方が職業を持つことに積極的である。なお、女性が職業を持つことを否定する意見はほとんどない。

##### （女性が職業を持つこと－①肯定的回答の理由）

- ・男女とも、「女性の能力を活用したほうがよい」と思う割合が最も高く、女性の方が男性よりも「収入を得る」ことに積極的である。

#### (女性が職業を持つこと－②否定的回答の理由)

- ・女性は男性よりも家庭を前提として仕事を捉え、両立の難しさを感じている。

#### (仕事選択で重視する点)

- ・仕事を選ぶときに重視することは、男女とも「収入が安定していること」が約5割であるが、「職場の雰囲気が良いこと」や「自分の興味や好み」の選択肢も比較的多い。また、女性の方が男性よりも「育児や介護に対しての支援制度が整っていること」に関心が高い。

#### (家事・育児の分担)

- ・将来の家事・育児の分担は、「夫婦で同じ程度の割合」が男女とも5割前後と高いが、「妻」が担うとする考えも一定の割合（女性4割、男性3割）を占める。

#### (家事・育児の分担－①きっかけとなった人物)

- ・男女とも「母」の割合が最も高い。「父」の割合は女性より男性の方が高い。

#### (仕事の分担)

- ・将来の仕事の分担で最も多いのは、女性は「夫婦で同じ程度の割合」、男性は「夫」で、男女で差がみられる。

#### (仕事の分担－①きっかけとなった人物)

- ・男女とも「父」の割合が最も高いが、女性は「母」の割合も同じくらい高い。

#### (介護の分担)

- ・将来の介護の分担は、「夫婦で同じ程度の割合」が男女とも5割で最も高い。また、「妻」が担うとする考えは、男性よりも女性の方が割合が高い。

#### (介護の分担－①きっかけとなった人物)

- ・男女とも「無回答」の割合が最も高いが、次いで「母」の割合が高い。

### 3. デートDVについて

- ・「デートDV」の認知率（「知っている」）は女性7割、男性6割と男女ともに意識が高い。
- ・恋人との関係について、男性より女性の方が「思いどおりにならない」「束縛されている」と感じている割合が高いが、優位性については女性の割合が高い結果となっている。
- ・恋人との間で起こることについて、デートDVと判断した割合が男女とも6割以上の項目は、「携帯番号を勝手に見たり友だちの番号やアドレスを消す」、「性的な画像や動画（写メ）などを勝手に撮ったりSNSなどに載せたりす

る」、「なぐるふりをしたり刃物を突きつけておどす」、「別れるなら死ぬ」などと言っておどす」、「物をこわしたり物を投げる」、「なぐるける突きとばす」である。

- ・「自分を常に優先してほしいと言う」、「こんな服を着て」と服装などのチェックや指示をする」、「体型のことをあれこれ言う」などの自己中心的な事柄については、デートDVとしての認識が低い。
- ・相手にされた経験については、各項目で2割未満となっているが、女性は「自分を常に優先してほしいと言う」、「しょっちゅう電話やメールをしてきたりどこで誰と会っているか繰り返し聞く」、「言う通りにしないとすぐに無視したり機嫌が悪くなる」が1割以上となっている。
- ・相手にしたことがある経験については全体的に割合が低い。
- ・デートDVの経験者の5割は男女とも相談していない。相談した割合は、男性は女性の半分以下である。男女とも「友人、知人、近所の人」の割合が最も高い。
- ・相談しなかった理由として、男女とも「相談するほどたいしたことでもないと思った」が最も高く、6割を占めている。また、女性は男性よりも自分の問題（我慢すればよい、自分に非がある）として捉えている割合が高い。

#### 4. 用語について

##### （男女共同参画に関する言葉の認知率）

- ・「セクハラ（セクシュアル ハラスメント）」の認知率は高い。
- ・「女性活躍推進法」、「DV防止法」、「ジェンダー」、「性別役割分担意識」、「ワーク・ライフ・バランス」は、男女とも認知率が低い。

#### 5. 自分への評価について

##### （自己評価）

- ・自分のことが好きだと思う女性は3割、男性は4割で、女性の方が低い。

##### （大人からの保護）

- ・周りのおとなから大切にされていると思う女性は7割、男性は6割で、男性の方が低い。

##### （相談相手）

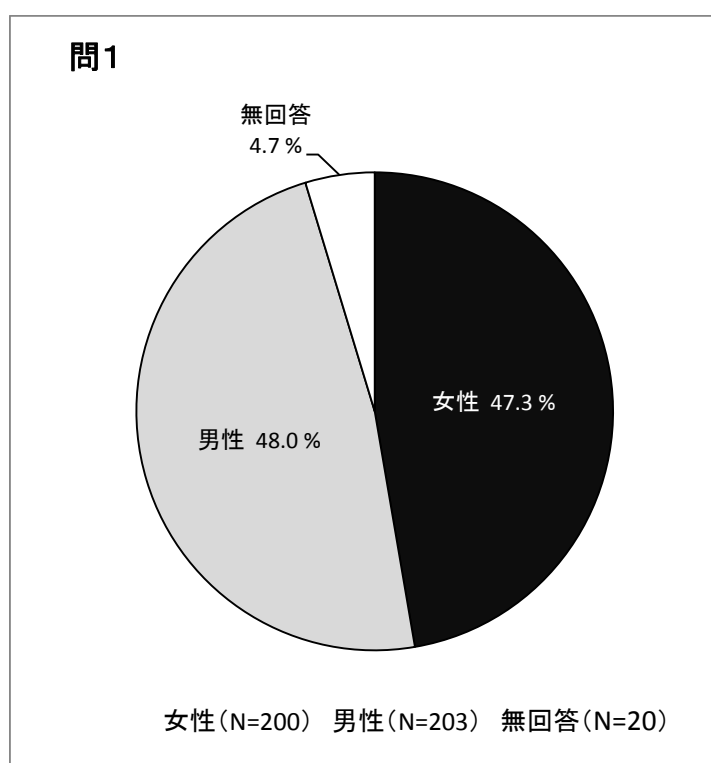
- ・男女とも主な相談相手は「友だち」が最も高く、次に「母」の順で、「父」は「母」より低い。

### Ⅲ. 調査集計結果

#### 1. あなた自身について

問1 あなたの性別を記入してください。

女性 47.3%、男性 48.0%、男女はほぼ同じ割合である。



## 2. 男女平等と性別役割分担意識について

問2 あなたは次の各分野において、男女がどの程度、平等になっていると思われるですか。

男女がともに5割以上平等と感じるものは「学校・教育の場」のみであり、男女ともが5割未満の項目は、「雇用の機会や働く分野」、「職場」、「政治・経済活動への参画」、「社会全体」である。

また、男性の5割以上が平等としているが、女性は5割未満である項目は「家庭生活の場」、「自治会などの地域活動」、「法律や制度」、「社会通念・慣習やしきたり」であった。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた、『男性が優遇されている』と感じる割合が男女平均で30%以上である分野は、以下のとおりである。

「雇用の機会や働く分野」 (平均 37.5% 女性 41.0% 男性 34.0%)

「政治・経済活動への参画」 (平均 32.3% 女性 38.0% 男性 26.6%)

また、男女を比較して、『男性が優遇されている』と感じる割合が女性の方が多項目は以下のとおりである。

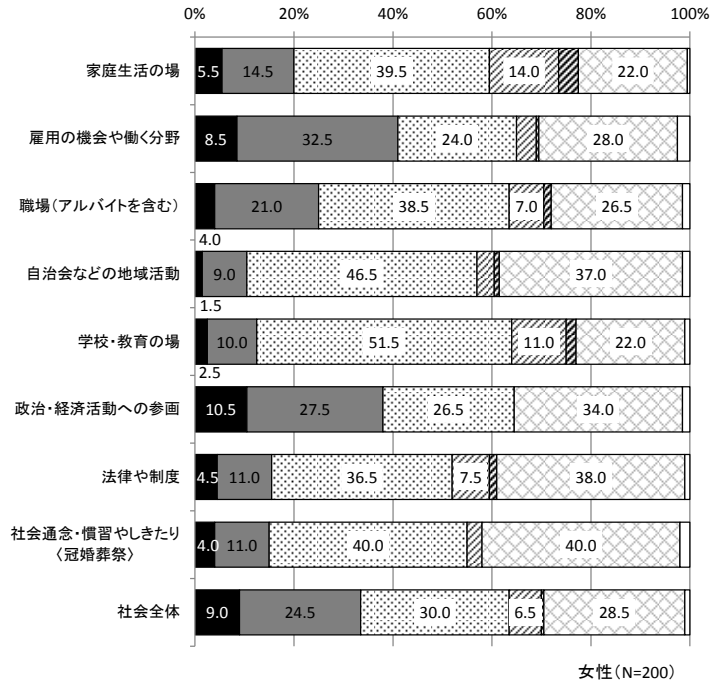
「政治・経済活動への参画」 (女性 38.0% 男性 26.6%)

「家庭生活」 (女性 20.0% 男性 9.9%)

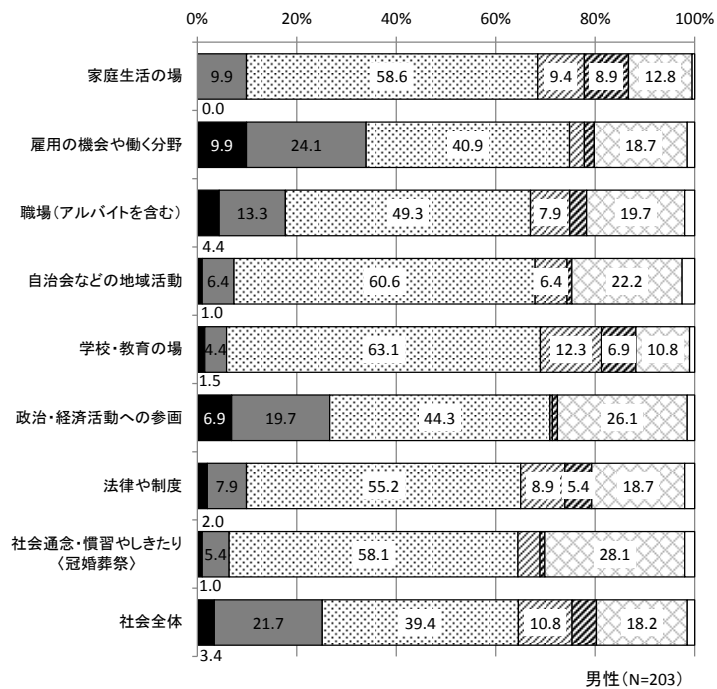
「社会通念・慣習やしきたり〈冠婚葬祭〉」 (女性 15.0% 男性 6.4%)

「社会全体」 (女性 33.5% 男性 25.1%)

問2



女性 (N=200)

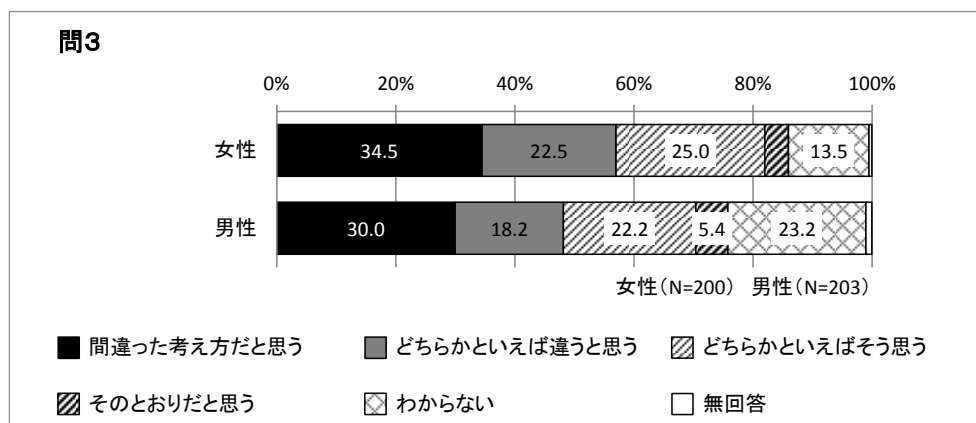


男性 (N=203)

- 男性の方が優遇されていると思う
- どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う
- ▨ 平等だと思う
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う
- ▨ 女性の方が優遇されていると思う
- ▨ わからない
- 無回答

問3 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方について、あなた自身はどう思いますか。

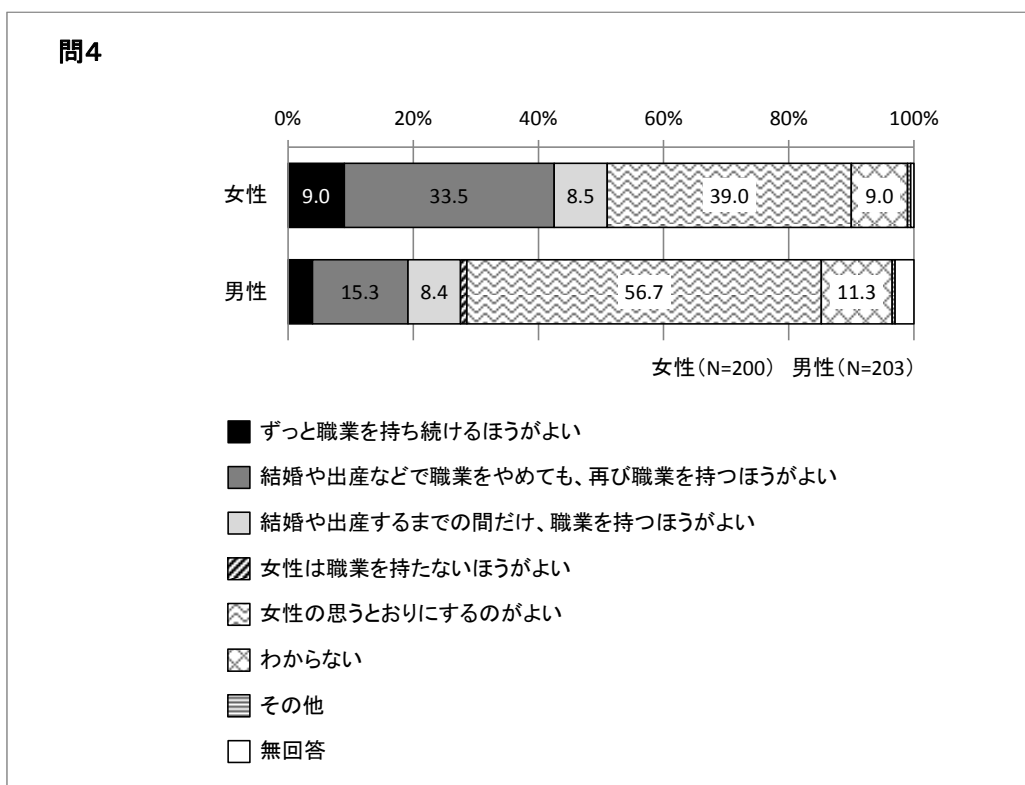
「間違った考え方だと思う」と「どちらかといえば違うと思う」を合わせた否定的な割合は、女性は57.0%、男性が48.2%であり、女性が男性より8.8ポイント高い。



問4 女性が職業を持つことについて、あなた自身はどのように考えますか。

女性では、「女性の思うとおりにするのがよい」39.0%が最も高く、次いで「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」33.5%、「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」9.0%となっている。

男性では、「女性の思うとおりにするのがよい」56.7%が最も高く、次いで「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」15.3%、「結婚や出産するまでの間だけ、職業を持つほうがよい」8.4%となっている。



高校生 問4 その他回答
やれたらやった方がいい
好きにしたらいい



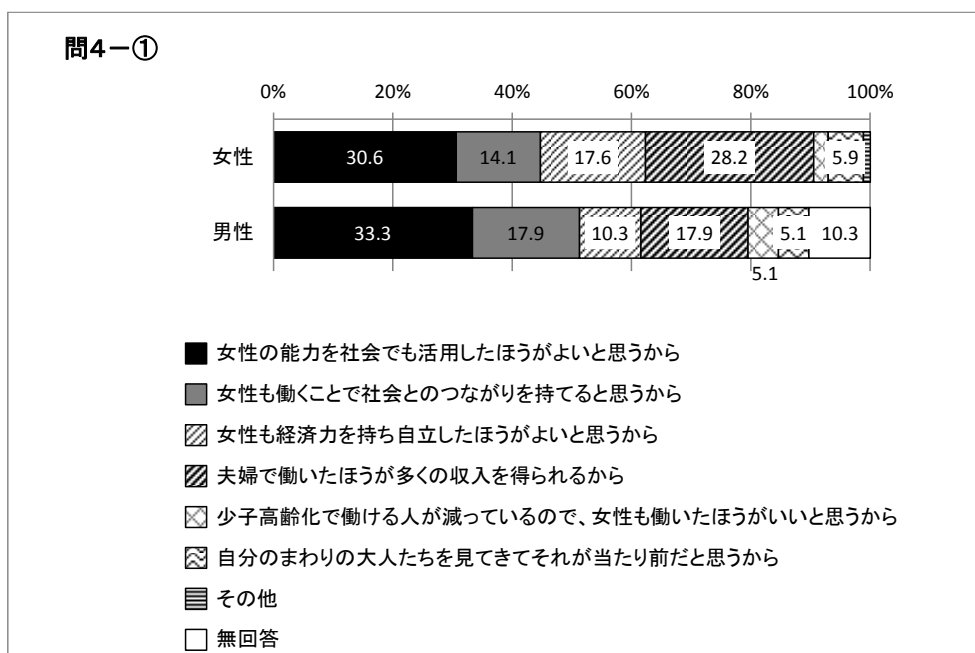
問4-① それはどのような理由からですか。

【問4で「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」と回答した人】

女性では、「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」30.6%が最も高く、次いで「夫婦で働いたほうが多くの収入を得られるから」28.2%、「女性も経済力を持ち自立したほうがよいと思うから」17.6%、「女性も働くことで社会とのつながりを持てると思うから」14.1%となっている。

男性では、「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」33.3%が最も高く、次いで「女性も働くことで社会とのつながりを持てると思うから」17.9%、「夫婦で働いたほうが多くの収入を得られるから」17.9%となっている。

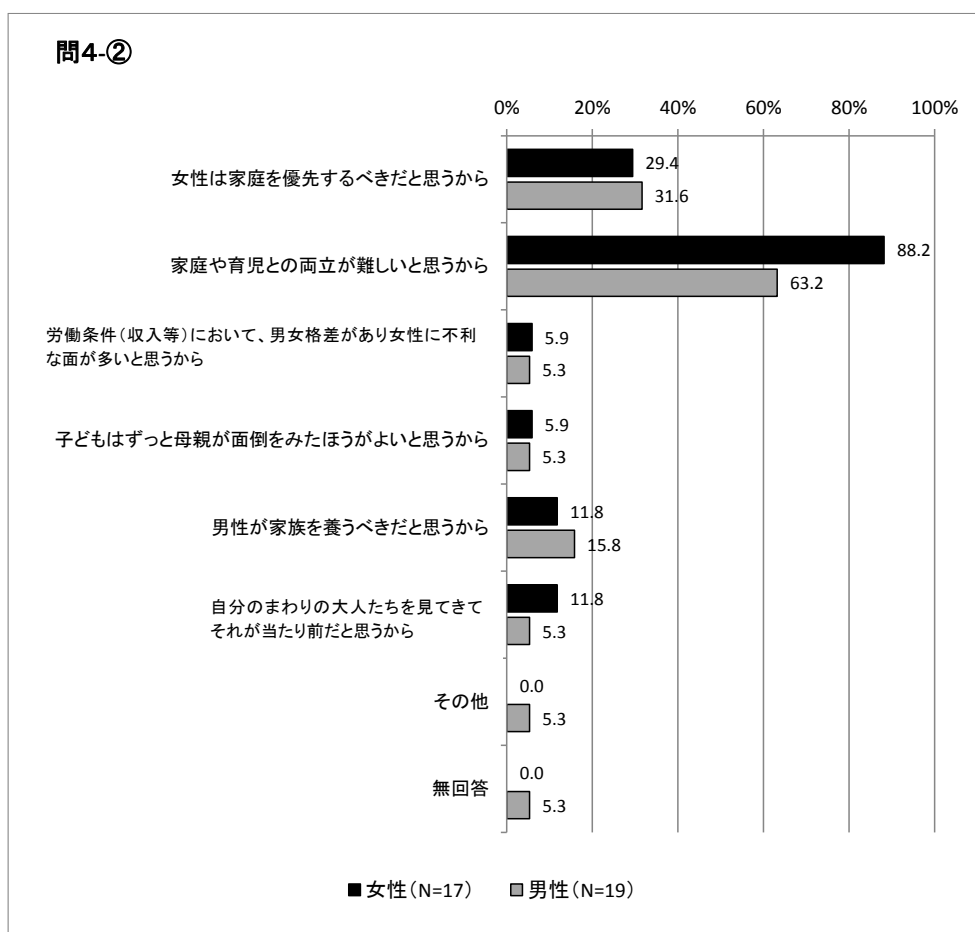
「女性も経済力を持ち自立したほうがよいと思うから」では、女性17.6%に対して、男性は10.3%で女性より7.3ポイント低い。



問4-② それはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

【問4で「結婚や出産するまでの間だけ、職業を持つほうがよい」や「女性は職業を持たないほうがよい」と回答した人】

女性が職業を持つことに否定的な理由は、男女とも「仕事と家庭の両立が難しいと思うから」(女性 88.2% 男性 63.2%) が最も高いが、男性は女性より25.0ポイント低い。次いで「女性は家庭を優先するべきだと思うから」は、女性が29.4%、男性が31.6%となっている。

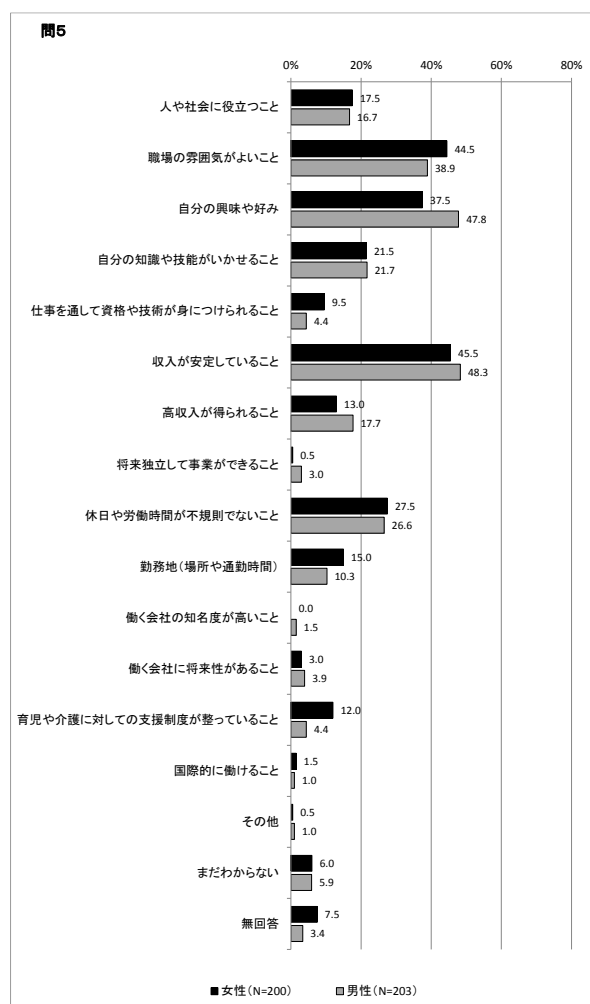


問5 あなたが、仕事を選ぶときに重視することは何ですか。  
 (あてはまるものに○は3つまで)

女性では、「収入が安定していること」45.5%、「職場の雰囲気がよいこと」44.5%、「自分の興味や好み」37.5%、「休日や労働時間が不規則でないこと」27.5%となっている。

男性では、「収入が安定していること」48.3%、「自分の興味や好み」47.8%、「職場の雰囲気がよいこと」38.9%、「休日や労働時間が不規則でないこと」26.6%となっている。

「育児や介護に対する支援制度が整っていること」については、女性が12.0%に対して、男性は4.4%で女性より7.6ポイント低い。



高校生 問5 その他回答

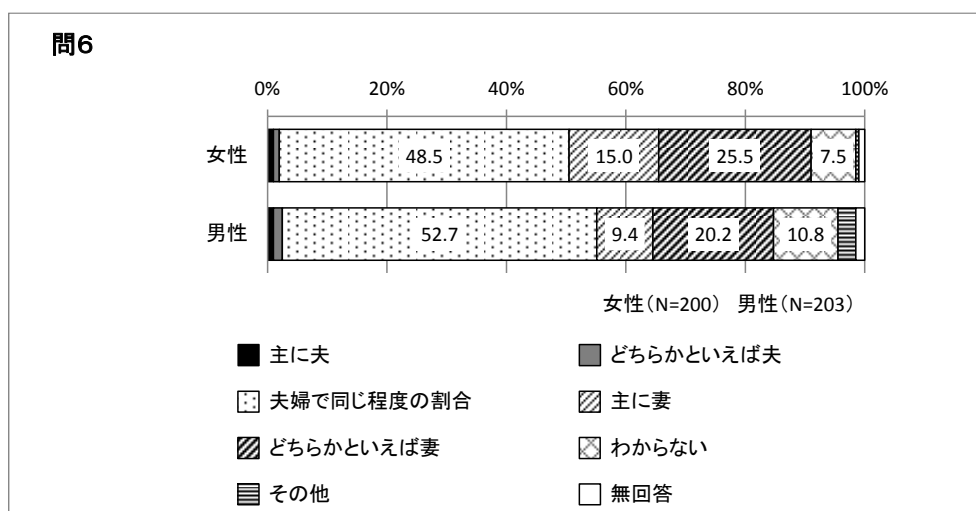
休みをとりやすい

その他2件

問6 あなたが将来、家庭を持った場合、家事・育児は誰がすることが望ましいと思いますか。

女性は「夫婦で同じ程度の割合」48.5%、「どちらかといえば妻」25.5%、「主に妻」では15.0%となっているが、男性は「夫婦で同じ程度の割合」52.7%で女性より高く、また「どちらかといえば妻」20.2%、「主に妻」では9.4%については女性より低い。

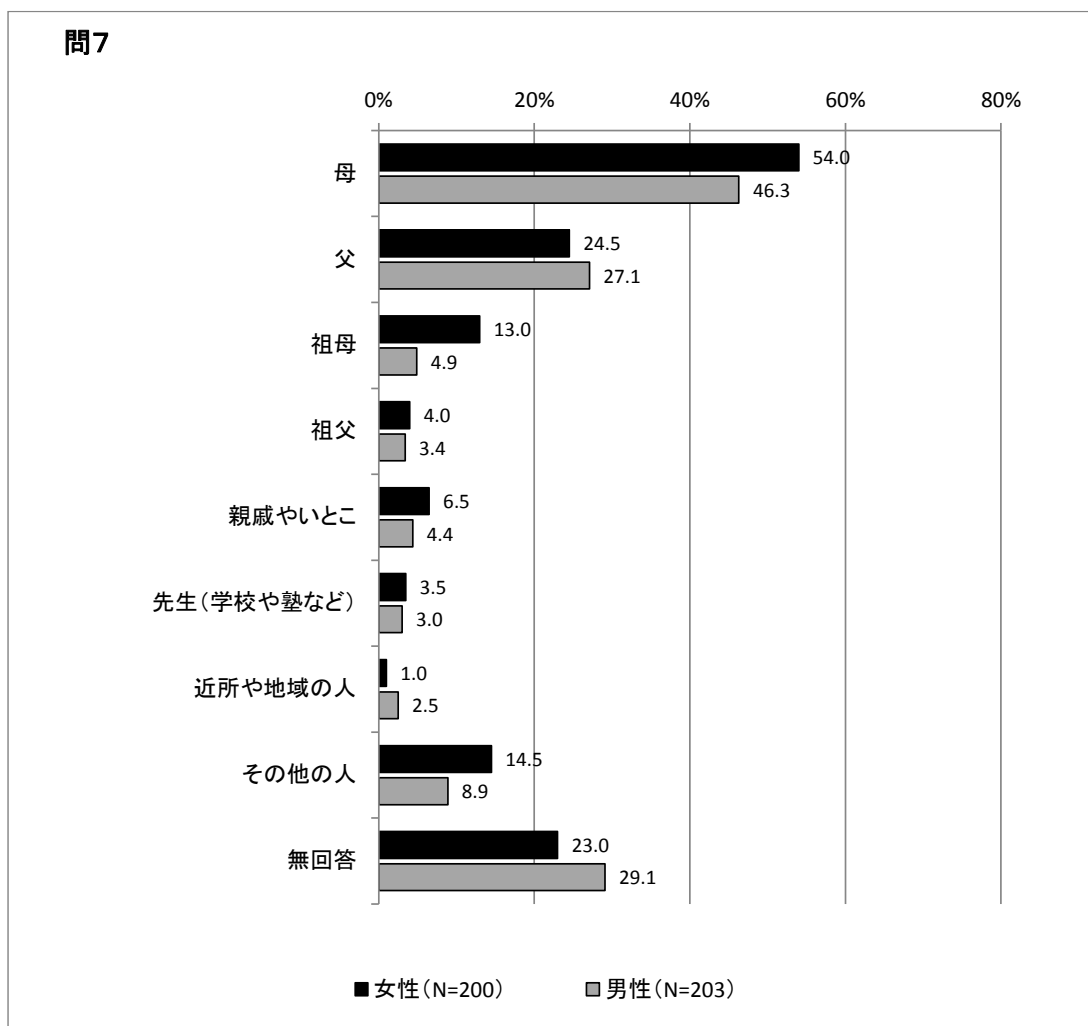
男女ともに「夫婦で同じ程度の割合」を望む意識が半数を占めている。



高校生	問6	その他回答
その時による		
それぞれ手の空いた人がやる		
できる人がやる		
仕事をしていないほう		
収入による		

問7 問6で回答された考え方のきっかけとなったのは、誰の言葉や行為ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

男女とも「母」が最も高く、女性 54.0%、男性 46.3%で、女性は男性よりも7.7ポイント高い。次いで「父」は、女性 24.5%、男性 27.1%と、こちらでは、男性が女性よりも2.6ポイント高い。



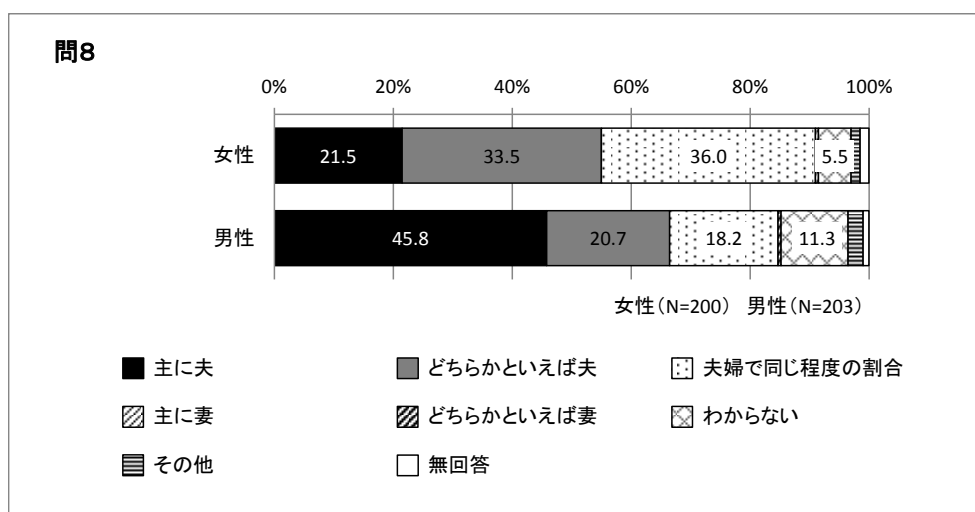
高校生 問7 その他回答	
TV (他12件)	自分 (他2件)
ツイッターでなげいている人	社会全体
ニュース	色々な人やテレビ、ゲームなど
みんな	他の家庭
メディア	分からない
家族	友達 (他1件)

問8 あなたが将来、家庭を持った場合、仕事は誰がすることが望ましいと思いますか。

女性では「主に夫」は 21.5%、「どちらかといえば夫」33.5%で、合わせて 55.0%が夫としている。

男性では「主に夫」45.8%、「どちらかといえば夫」20.7%で、合わせて 66.5%が夫としており、女性は男性よりも 11.5 ポイント低い。

また、女性で最も高い「夫婦で同じ程度の割合」36.0%について、男性は約半数の 18.2%となっている。

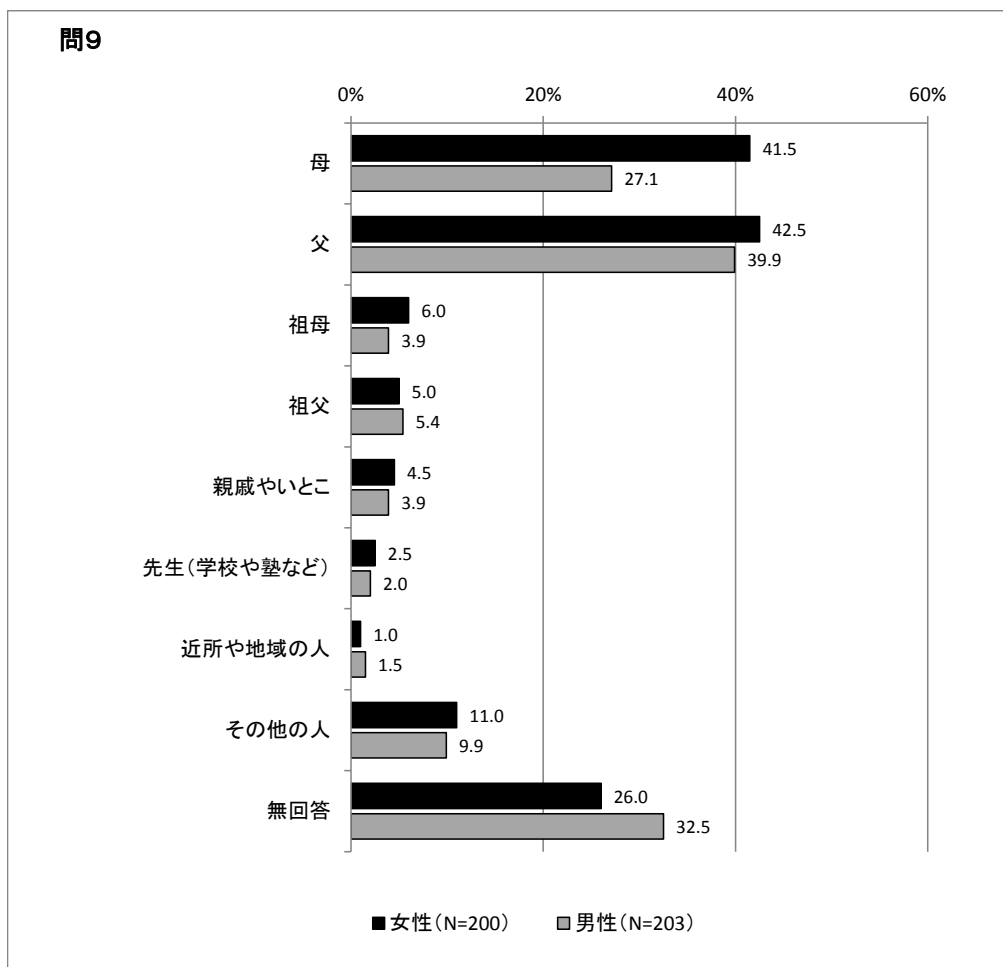


高校生 問8 その他回答
その時による
できる人がやる
やりたい人
仕事をしていないほう
話して決める

問9 問8で回答された考え方のきっかけとなったのは、誰の言葉や行為ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

女性では「父」42.5%、「母」41.5%である。

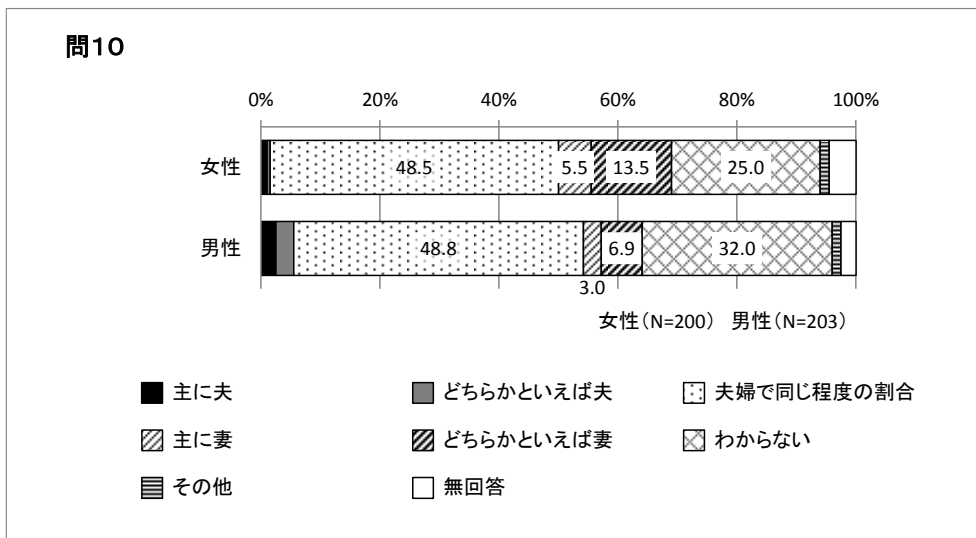
男性では「父」39.9%、次いで「母」27.1%である。



高校生 問9 その他回答	
TV (他6件)	自分 (他2件)
ドラマ	社会全体
ニュース (他1件)	周り
みんな	色々な人やテレビ、ゲームなど
兄	分からない
固定概念	

問10 あなたが将来、家庭を持った場合、介護は誰がすることが望ましいと思いますか。

男女とも「夫婦で同じ程度の割合」が最も高く、女性48.5%、男性48.8%である。「主に妻」「どちらかといえば妻」を合わせた数値は、女性19.0%、男性9.9%で、女性が男性より9.1ポイント高い。



高校生 問10 その他回答
できる人がやる
介護施設
弁護士

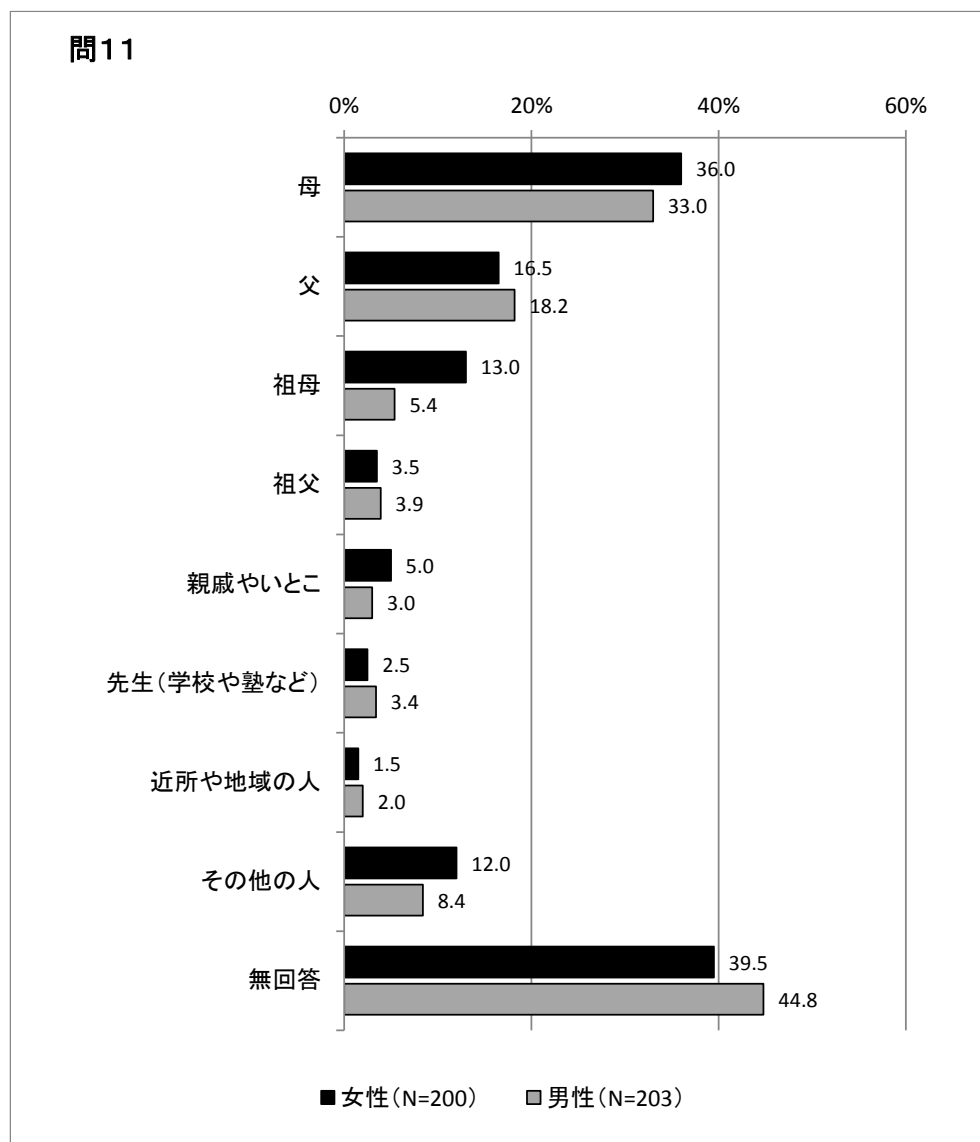
その他4件



問11 問10で回答された考え方のきっかけとなったのは、誰の言葉や行為ですか。(あてはまるものすべてに○)

女性では「母」36.0%、「父」16.5%である。

男性では「母」33.0%、「父」18.2%である。

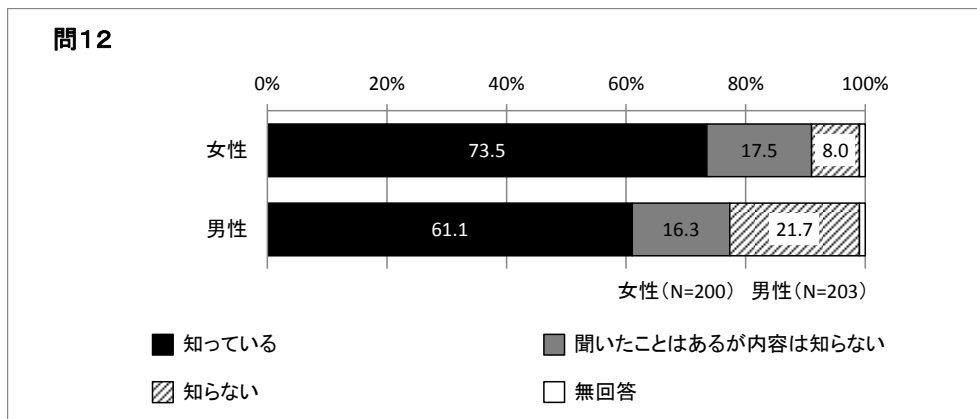


高校生 問11 その他回答	
TV (他5件)	わからない (他3件)
みんな	学校の先輩
メディア	自分 (他1件)
きっかけはない	

### 3. デートDVについて

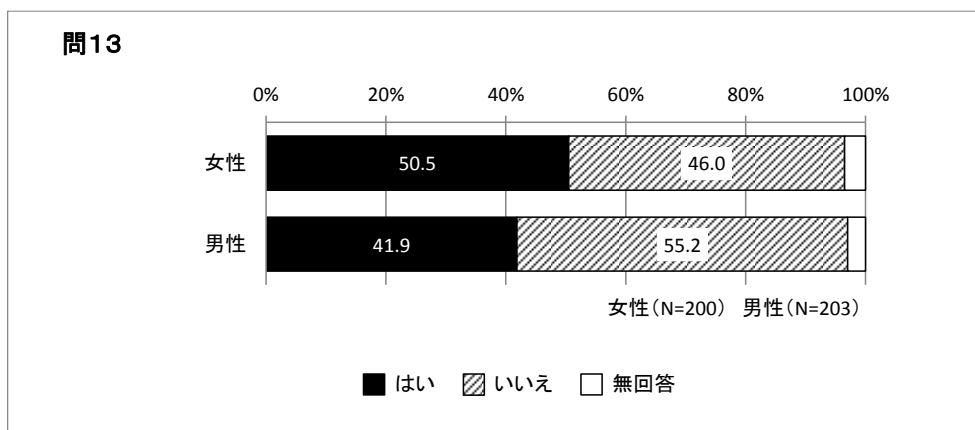
問12 あなたは、「デートDV」について知っていますか。

「知っている」では、女性 73.5%、男性 61.1%で女性よりも 12.4 ポイント低い。「聞いたことがあるが内容は知らない」では、女性 17.5%、男性 16.3%である。男性の方が女性よりも認知率が低い。



問13 あなたは現在、恋人(交際相手)がいますか。または恋人(交際相手)がいましたか。

女性では「はい」が 50.5%、男性では 41.9%で、女性の方が男性よりも 8.6 ポイント高い。



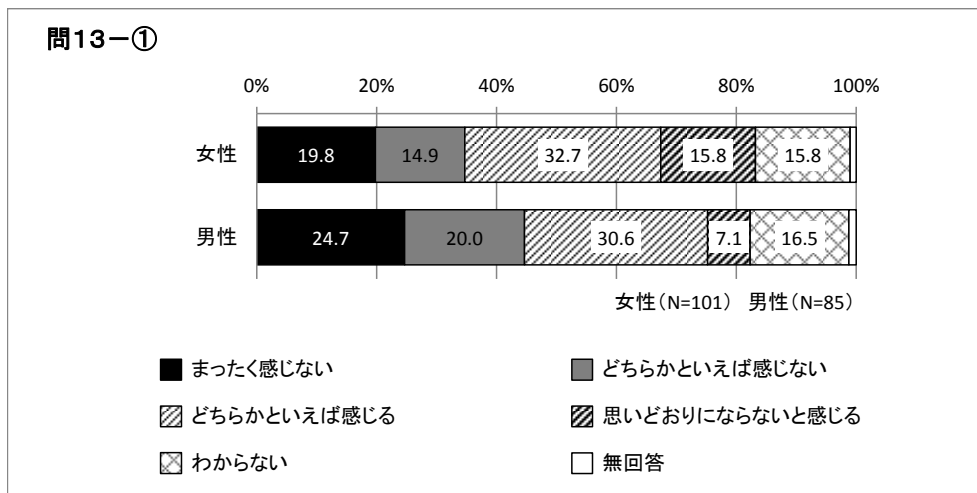
問13-① あなたは、その恋人との関係において、思いどおりにならないと感じることがありますか。またはありましたか。

【問13で恋人（交際相手）が「いる」、または「いた」と回答した人】

女性では「まったく感じない」19.8%、「どちらかといえば感じない」14.9%を合わせた『感じない』は、34.7%である。

男性の「まったく感じない」24.7%、「どちらかといえば感じない」20.0%を合わせた『感じない』は、44.7%であり、男性は女性より感じない割合が10.0ポイント高い。

「どちらかといえば感じる」と「思いどおりにならないと感じる」を合わせた『感じる』では、女性の48.5%に対し、男性は37.7%と女性の割合は10.8ポイント低い。



問13-② あなたは、その恋人に束縛されていると思いますか。または思いましたか。

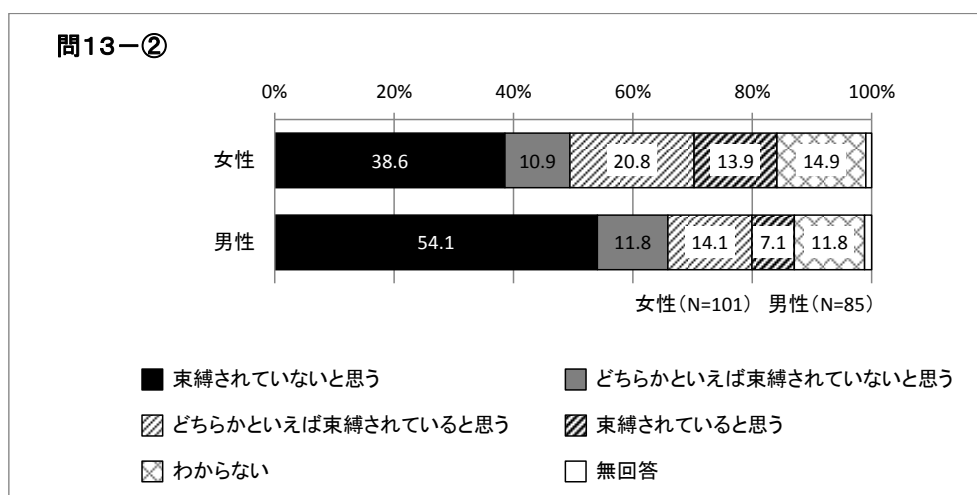
【問13で恋人（交際相手）が「いる」、または「いた」と回答した人】

女性では「束縛されていないと思う」38.6%、「どちらかといえば束縛されていない」10.9%で、合わせて49.5%が束縛されていないと思っている。

男性では「束縛されていないと思う」54.1%、「どちらかといえば束縛されていない」11.8%で、合わせて65.9%が束縛されていないと思っている。

女性のほうが男性よりも束縛されていないと思う割合が16.4ポイント低い。

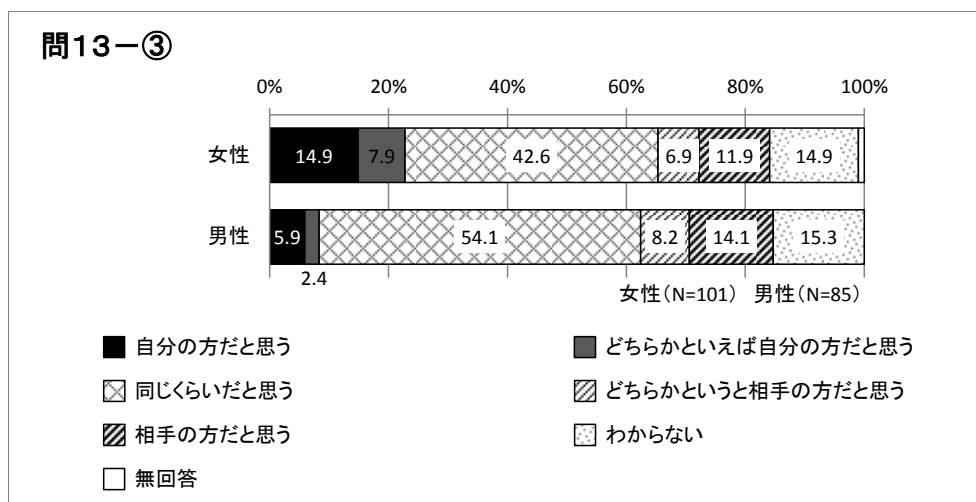
一方、「束縛されていると思う」と「どちらかといえば束縛されていると思う」を合わせた数値は、女性34.7%、男性21.2%で、女性の方が男性より13.5ポイント高い。



問13-③ あなたとその恋人との関係は、あなたの判断ではどちらが強い(優位である)と思いますか。または、思いましたか。

【問13で恋人(交際相手)が「いる」、または「いた」と回答した人】

男女とも、「同じくらいだと思う」(女性 42.6% 男性 54.1%)が最も多いが、「自分の方だと思う」と「どちらかといえば自分の方だと思う」を合わせると、女性は22.8%、男性は8.3%で、女性の方が男性より14.5ポイント高い。



問14(1) 恋人との間で次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか。

男女がともに、デートDVと判断した割合が60%以上の項目は以下のとおり。

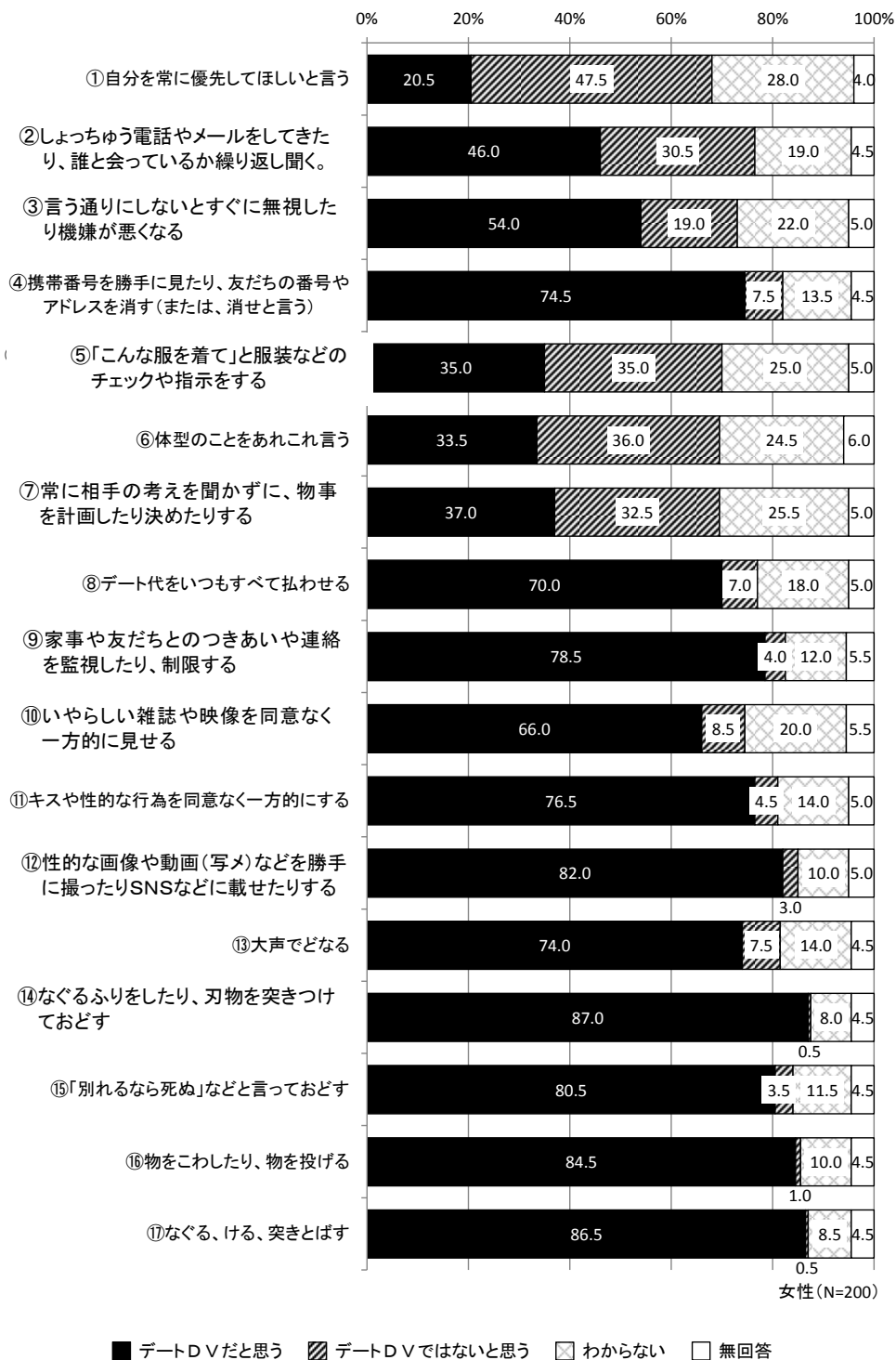
- ④ 携帯番号を勝手に見たり友だちの番号やアドレスを消す  
(女性 74.5% 男性 60.6%)
- ⑫ 性的な画像や動画(写メ)などを勝手に撮ったりSNSなどに載せたりする  
(女性 82.0% 男性 66.5%)
- ⑭ なぐるふりをしたり刃物を突きつけておどす (女性 87.0% 男性 71.4%)
- ⑮ 「別れるなら死ぬ」などと言っておどす (女性 80.5% 男性 61.1%)
- ⑯ 物をこわしたり物を投げる (女性 84.5% 男性 69.0%)
- ⑰ なぐるける突きとばす (女性 86.5% 男性 71.4%)

デートDVに対する意識は高まっており、特に女性が顕著である。

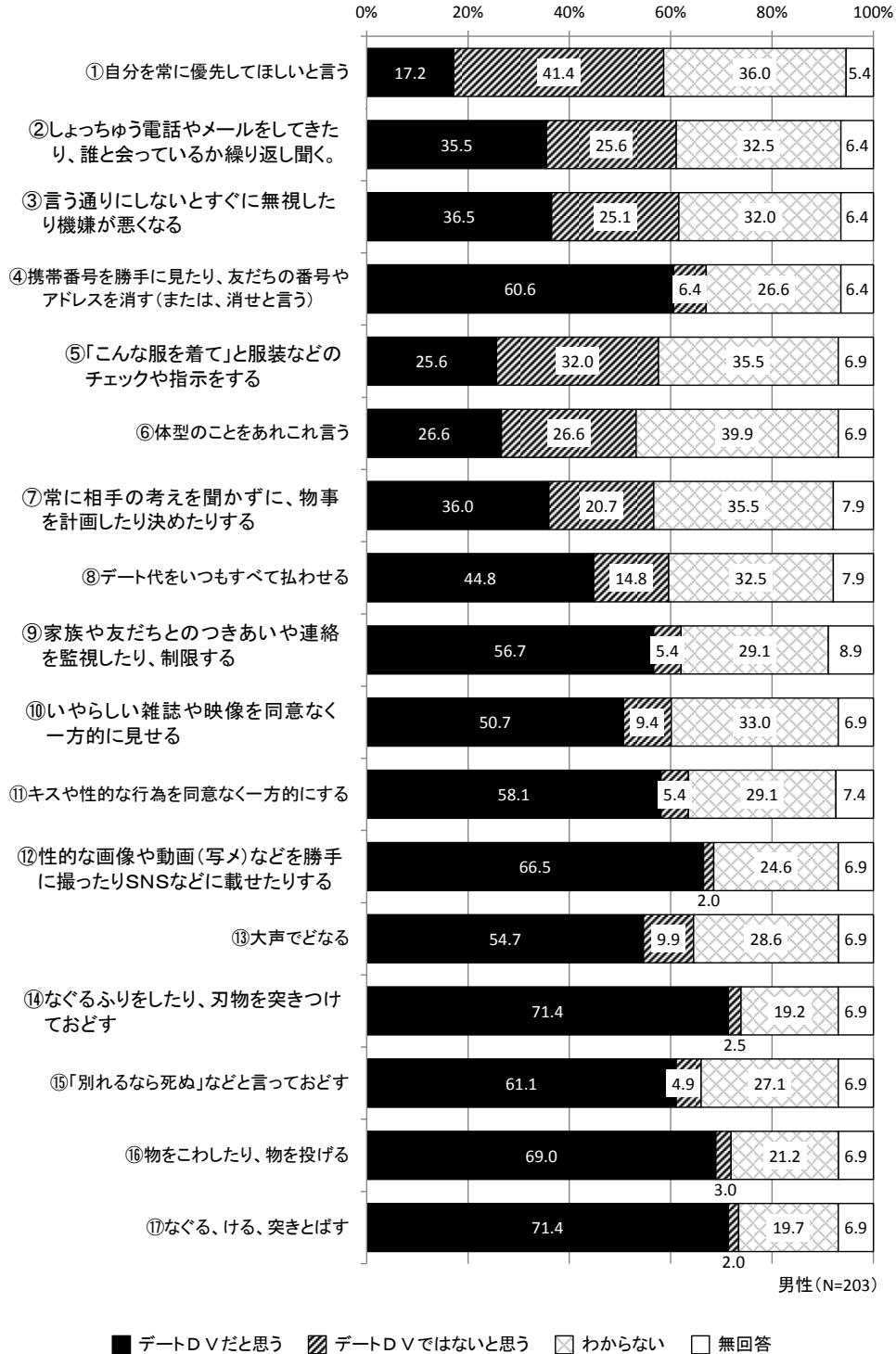
一方で、男女ともデートDVと判断した割合が40%未満の項目も多数あった。

- ① 自分を常に優先してほしいと言う (女性 20.5% 男性 17.2%)
- ⑤ 「こんな服を着て」と服装などのチェックや指示をする  
(女性 35.0% 男性 25.6%)
- ⑥ 体型のことをあれこれ言う (女性 33.5% 男性 26.6%)
- ⑦ 常に相手の考えを聞かずに物事を計画したり決めたりする  
(女性 37.0% 男性 36.0%)

問14(1)



問14(1)



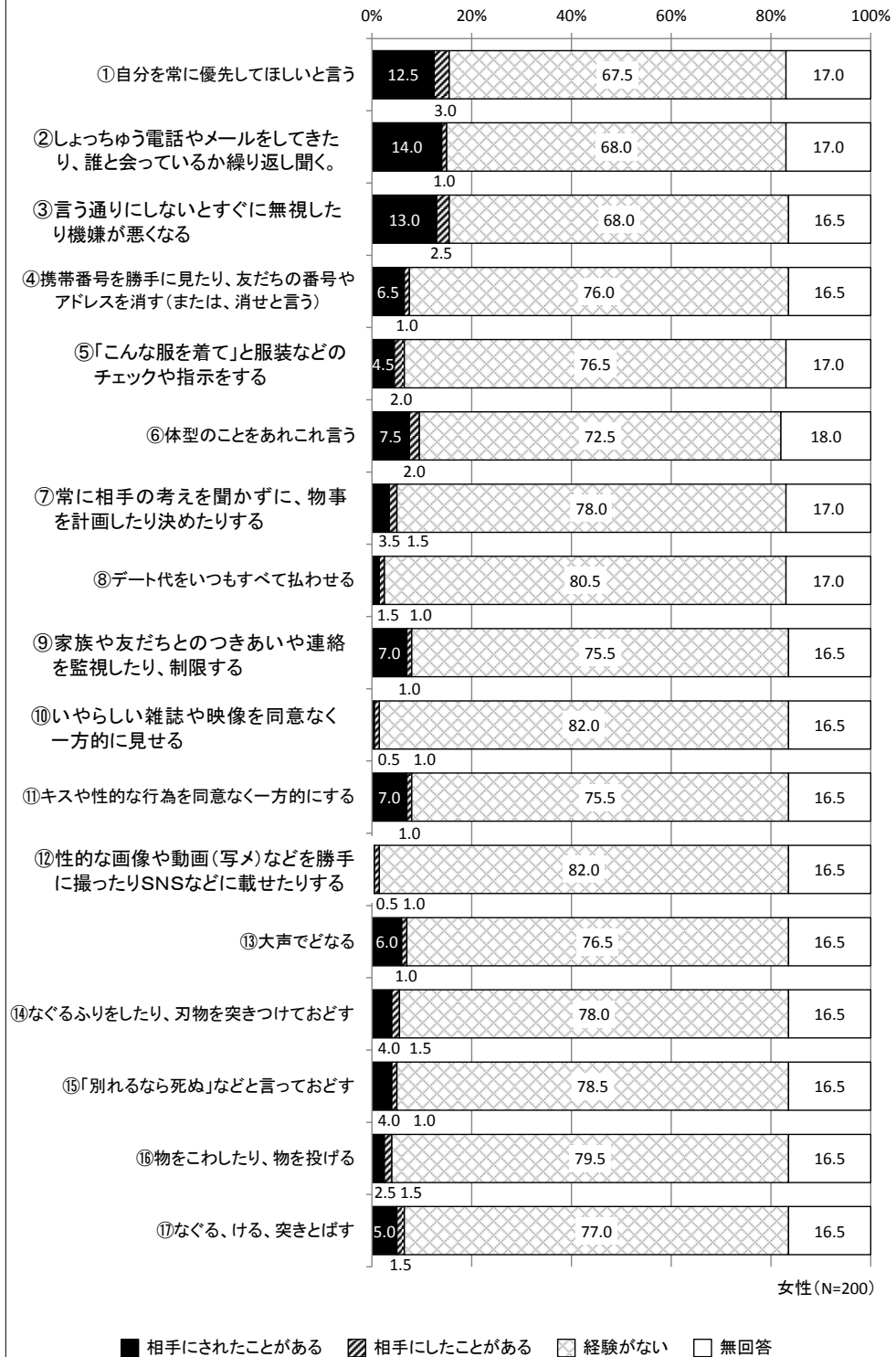


問14-(2) 恋人との間で次のようなことを実際に相手にしたり、された経験がありますか。

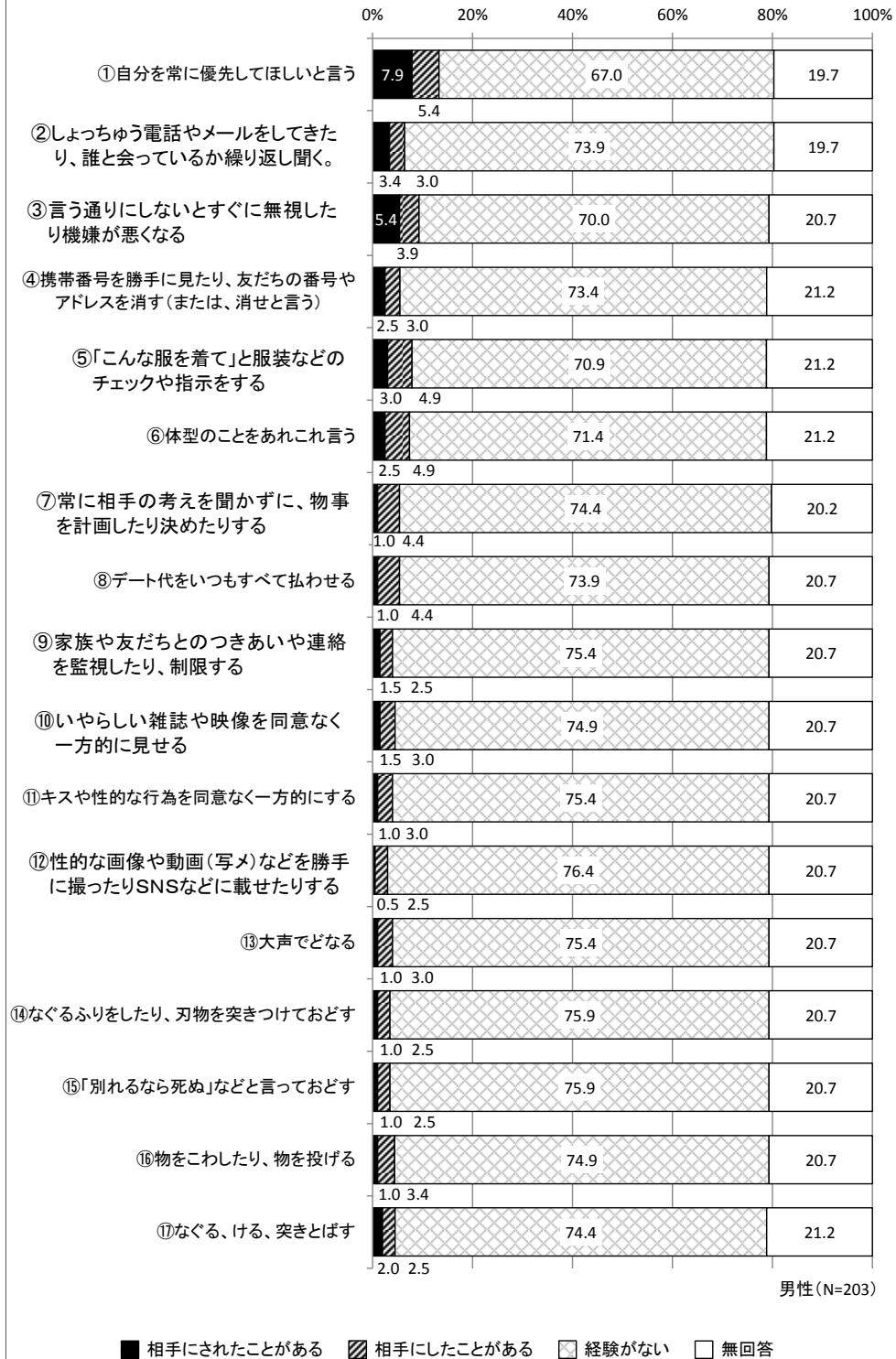
女性が「相手にされたことがある」で10%以上の項目をみると、「①自分を常に優先してほしいと言う」(女性12.5% 男性7.9%)、「②しょっちゅう電話やメールをしてきたりどこで誰と会っているか繰り返し聞く」(女性14.0% 男性3.4%)、「③言う通りにしないとすぐに無視したり機嫌が悪くなる」(女性13.0% 男性5.4%)であり、男性は該当項目はなかった。

男女別にみると、「相手にされたことがある」割合は女性が高い傾向にある。

問14(2)

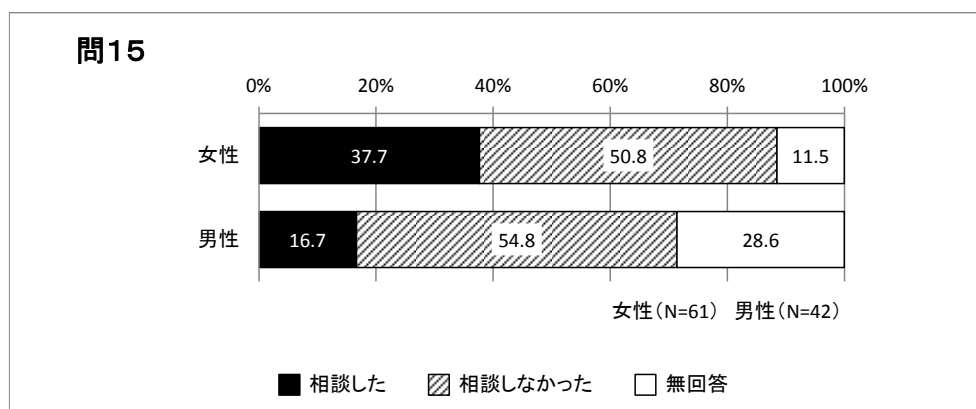


問14(2)



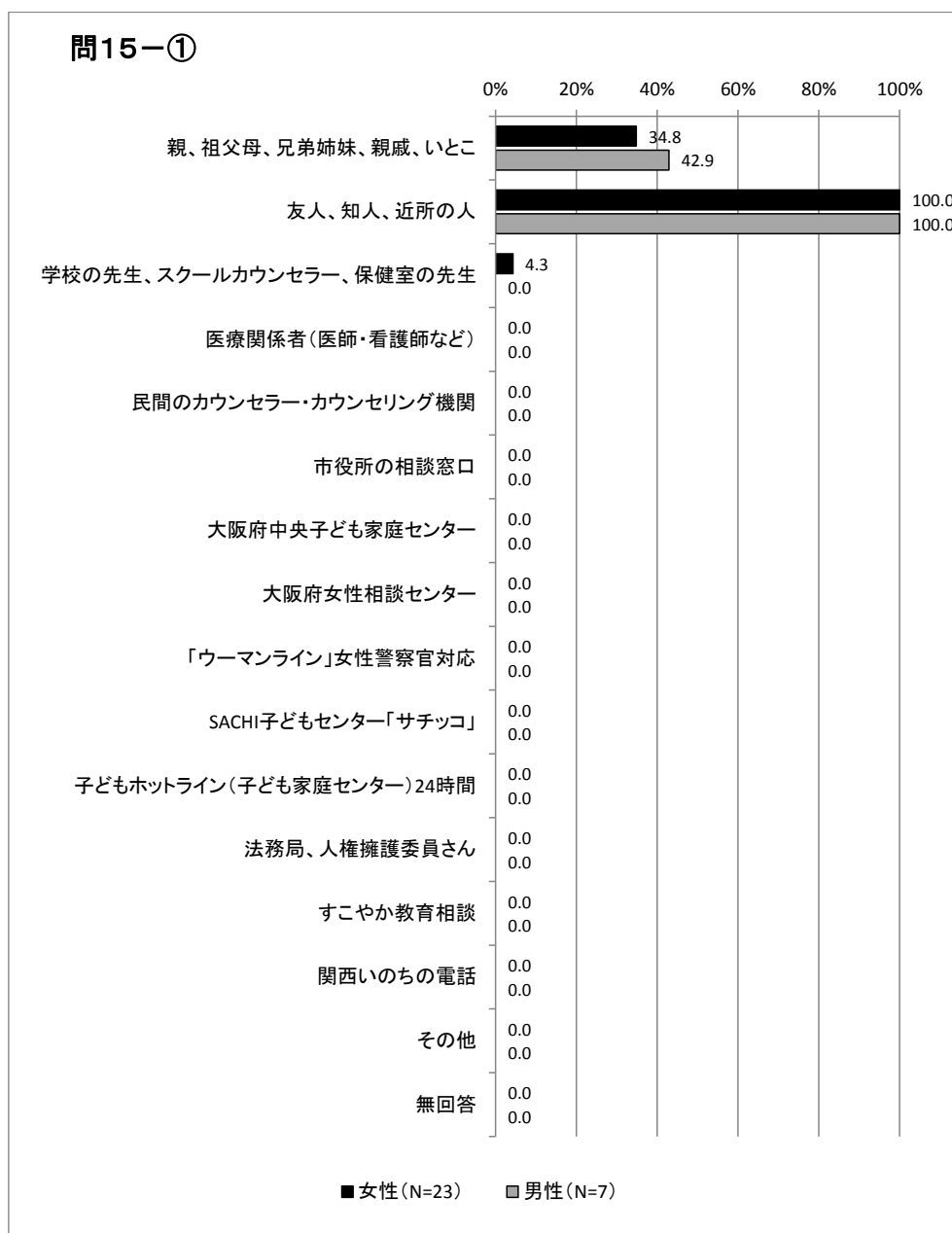
問15 それらの行為をしたり、されたりしたそのあと、相談しましたか。  
【問14の「行為の経験」で1つでも「相手にされたことがある」「相手にしたことがある」と回答した人】

男女ともに「相談しなかった」割合（女性 50.8% 男性 54.8%）が最も高い。  
「相談した」割合は女性 37.7%、男性 16.7%であり、女性が男性より 21 ポイント高い。



問15-① それは誰(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)  
 【問15で「相談した」と回答した人】

男女ともに「相談した」と回答した全員が「友人、知人、近所の人」に相談しており、他には「親、祖父母、兄弟姉妹、親戚、いとこ」(女性 34.8%男性 42.9%)である。

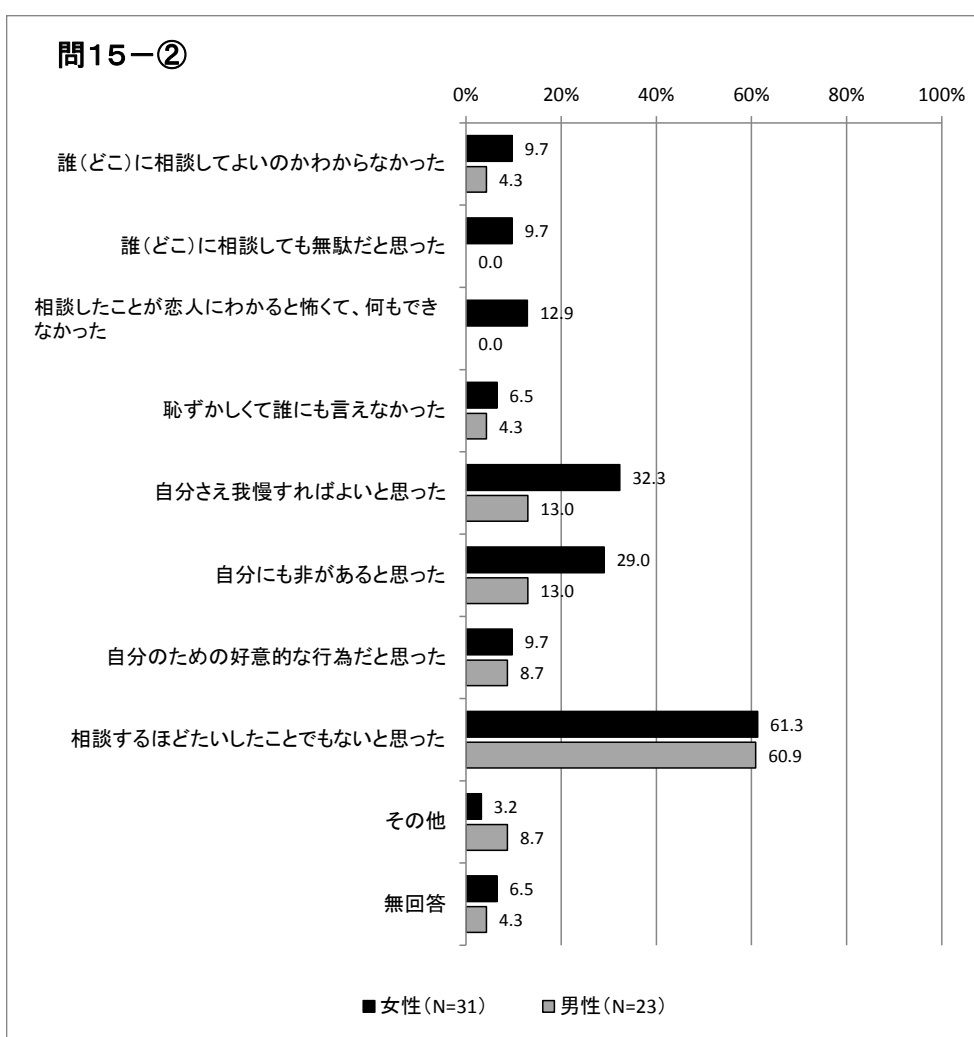


問15-② それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

【問15で「相談した」と回答した人】

女性では、「相談するほどたいしたことでもないと思った」61.3%が最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思った」32.3%、「自分にも非があると思った」29.0%である。

男性では、「相談するほどたいしたことでもないと思った」60.9%が最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思った」と「自分にも非があると思った」が13.0%である。



高校生 問15-② その他回答

自分たちの事を他の人に話す意味なんてないとおもった

その他2件

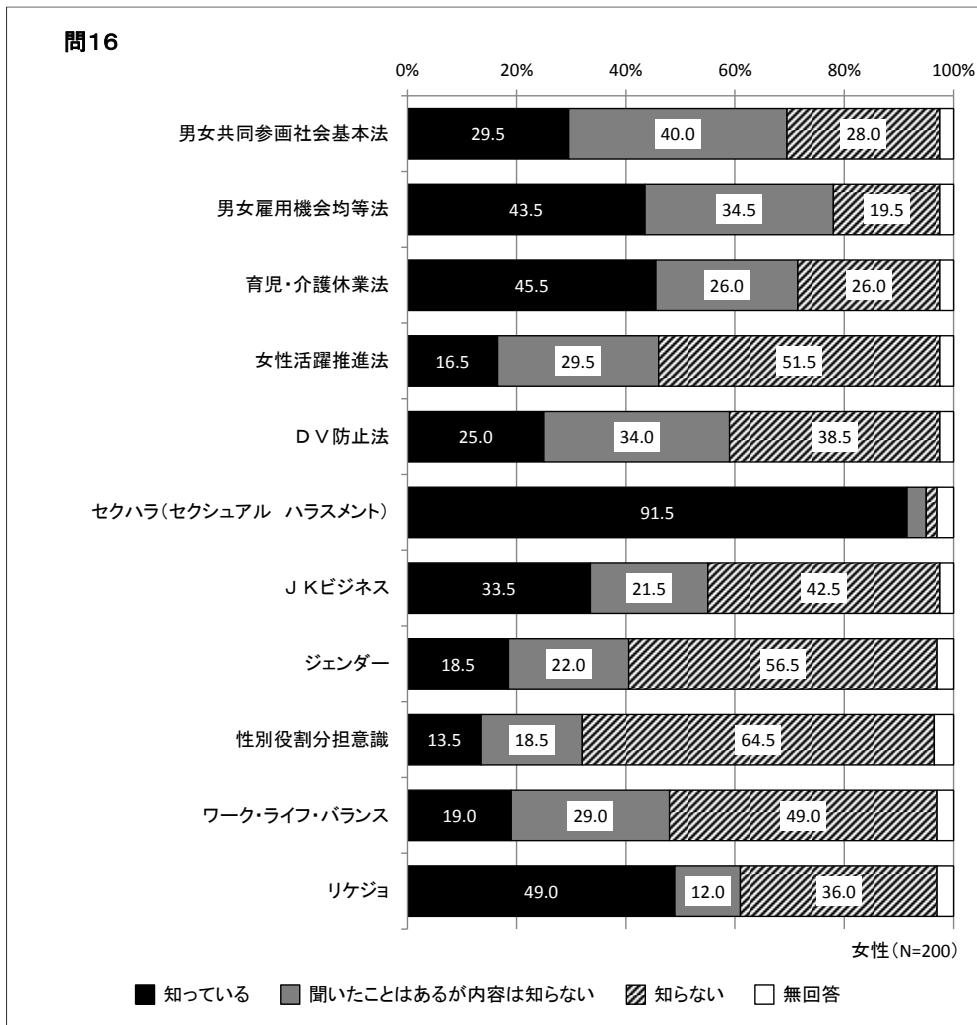
## 4. 用語について

問16 あなたは、次の言葉について知っていますか。

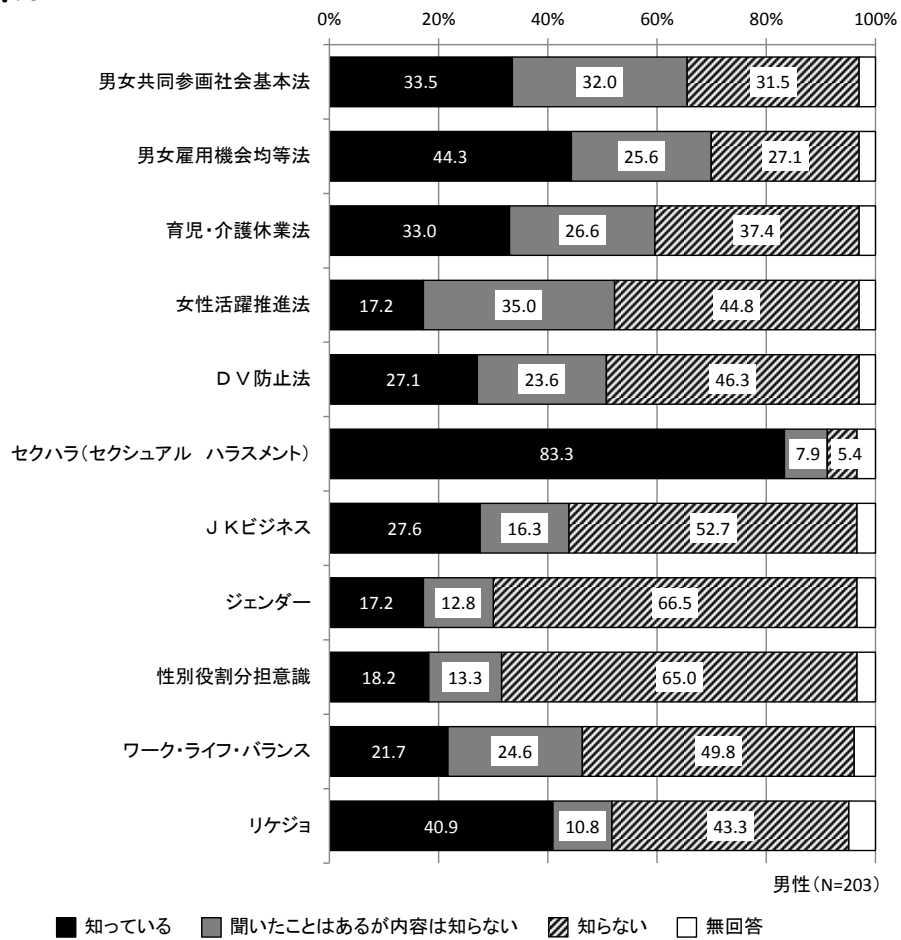
男女共同参画に関する法律や言葉 11 項目についての回答をみると、男女とも 60%以上が『知っている』は、「セクハラ (セクシュアル ハラスメント)」(女性 91.5% 男性 83.3%) である。

男女とも『知っている』が 30%未満の項目は以下のとおり。

「女性活躍推進法」(女性 16.5% 男性 17.2%)、「DV防止法」(女性 25.0% 男性 27.1%)、「ジェンダー」(女性 18.5% 男性 17.2%)、「性別役割分担意識」(女性 13.5% 男性 18.2%)、「ワーク・ライフ・バランス」(女性 19.0% 男性 21.7%)



問16





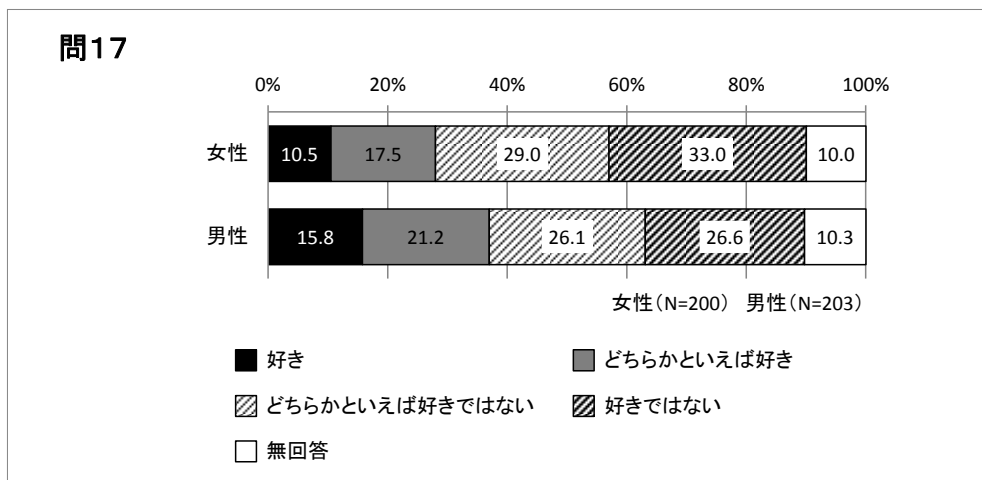
## 5. 自分への評価について

問17 あなたは、自分のことが好きですか。

女性の自己肯定感は、「好き」10.5%と「どちらかといえば好き」17.5%を合わせると28.0%で、男性の「好き」15.8%と「どちらかといえば好き」21.2%を合わせた37.0%と比較して、9ポイント低い。

また、「どちらかといえば好きでない」(女性29.0% 男性26.1%)と「好きでない」(女性33.0% 男性26.6%)を合わせると女性62.0% 男性52.7%で女性が男性よりも9.3ポイント高い。

男女とも、好きの割合(女性28.0% 男性37.0%)よりも、好きでない割合(女性62.0% 男性52.7%)が高い。

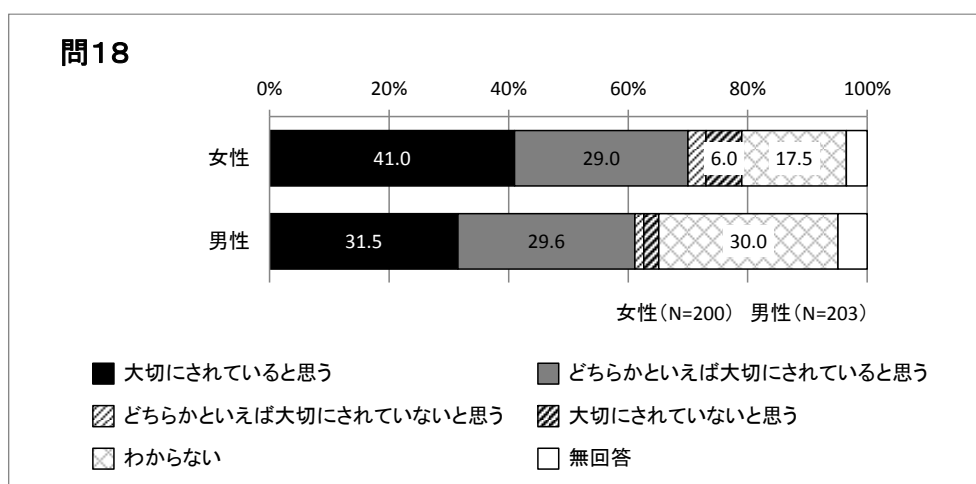


### 問18 あなたは、周りのおとなから大切にされていると思いますか。

女性では、「大切にされていると思う」41.0%と「どちらかといえば大切にされていると思う」29.0%を合わせて、70.0%が大切にされていると感じている。

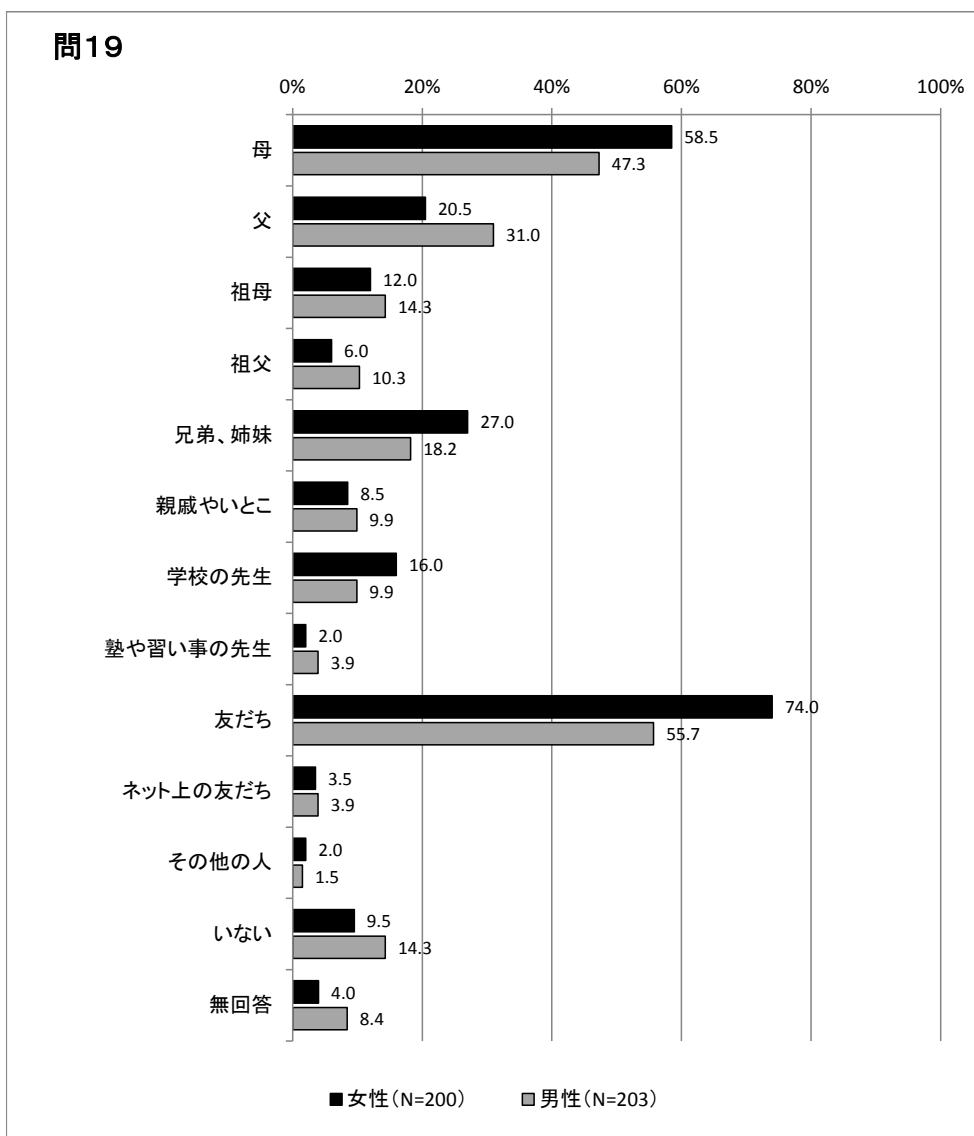
男性では、「大切にされていると思う」31.5%と「どちらかといえば大切にされていると思う」29.6%を合わせて、61.1%が大切にされていると感じている。

女性は、大切にされていると思う割合が、男性よりも8.9ポイント高い。



問19 あなたに悩みや心配事がある時、相談できる人はいますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

女性では「友だち」74.0%、「母」58.5%、「父」20.5%である。  
 男性では「友だち」55.7%、「母」47.3%、「父」31.0%である。  
 男女とも「友だち」が高い。



高校生 問19 その他回答	
バイトの人	彼女
彼氏	恋人

## 7. 自由記入

問 20 男性と女性が性別に関わりなく、お互いを支え認め合い、一人ひとりが得意なことをいかして社会で活躍していくために、あなたは「学校」「家庭」でなにができると思いますか。

高校生 問20 「学校」「家庭」でなにができると思いますか。
その人の個性をできるだけ引き出すようにする。ただし、メリハリがなくなってしまうのはもったいないので、ダメな時はちゃんとといってメリハリをつけさせる事
なににもできない。価値観を変えようとしらない人が学校の先生でも親でも多すぎる
みんなが人に心を許すことができるような日常を送れば、おたがい自然と信頼できる仲になる
もう少し女性の教師を増やしてほしい（自分の学校に）。女性にしたい相談などができない
意識的変換は必要不可欠である。なにより普段の生活の中から「男だから～」や「女だから～」と言った発言及び行動を慎しむべきであると考え。一方的男→女に対するものだけではなく「レディーファースト」と言った言葉も考え方的には古いのではないだろうか
家庭では家事を女性にさせるなど、決まった事はないので、しっかり男の人もやらないと不平等になると思うから、男の人も積極的にやってほしいと思う
学校でも家庭でも全て男がやる必要もないし、全て女がやる必要もないので、まずは話して好きなものとかを互いに伝え合って1人1人の個性を生かせばいいと思う
使う人と使われる人が2種類に分けられているこの社会で、一人ひとりが活躍するのは不可能だと思います。なので今は社会に出て活躍できる人間になるため努力します
男性に、もっとくわしく女性の体の教育をさせた方がいいと思う。それにいくら男女平等と言っても女性が男性と同じ事をするのは体のつくり的にも無理な事はあるからあるていどは女性にやさしくしてほしい。女性は男性とちがって体にふたんがかかる事が多い。
特に男性は仕事、女性は家事という固定観念を持ちやすい家庭では、それぞれの決まった役割の最低限をこなすのではなく、互いにサポートし合える家庭を目指していくべきだと思う。

平等に教育していく必要があると思う。1人ひとり得意なことは違うから、それぞれの得意なところをお互いに評価しあい、すてきな社会を作っていけばいいと思う
お互いどのようにしたら活躍していけるかで意見を出すところから考えていく
コミュニケーションをしっかりとること
すべてにおいて自分からすすんでやる
一人ひとりの立場や尊厳をしっかりと確立すること
みんなの考え方がかわらない限り、なにをしても無理やと思う
ささいなことでもいいから、話したり、一緒に過ごしたり、周りとの仲よくなること…と思います
フレンドリーになり話しかけていく
みんなでなかよく手をつなぎ支えあうことが大事だと思う
みんなの考え方が変わらないかぎり、何をしても無理やと思う
一人ひとりが自分の目標を見つけて、それにむかって努力をすれば皆が社会で活躍できるようになると思う。そのためには学校などで目標を見つけることが今、私にできることです
一人ひとりが努力をする
一人一人の個性を尊重し、家庭ではみんなで役割を分担して家事に協力する
一人一人の配慮や気づかい
家の手伝い
家事（2件）
家庭では、家庭内の仕事を女性に任せきりではなく、男性も平等に家事をしていけば良い社会ができていくと思います
家庭では互いに尊重し協力することだと思うが、学校では非常に難しく感じる
学校では格差は感じない。社会にでてから格差がでてると思った
学校では自分の行きたい大学へ行き、自分のやりたいようにすればいいと思う。家庭では互いのことを考えて行動する。少しずつでも良いから徐々に仲がさらに良くなると幸せになれる
学校では勉強などを教え合ったり、色々な大きい行事も協力し合うのがいいと思う。家庭では女の人だけが家事をやるんじゃなくて男の人でも家事をやればいいと思う

思いやりの気持ちが大事
自分で考える力をのばしていく教育をするべきだと思う
女性だからといって差別しない。(女性も一緒に男性だからといって差別しない) お互いに協力していけば良いと思う
相手を思いやる
男女ともに常に相手に思いやりを持つこと
男女の差別を失くす。互いの意見を聞いて結論を出すことを学校や家庭でもしたらよいかと
男性女性関係なく、一人ひとりを大切にしていく
わからない (16件)

その他72件